

令和 4 年度
「運営に関する計画」



大阪市立矢田東小学校
令和 4 年 4 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

令和 3 年度全国学力・学習状況調査から

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で 2 年ぶりに実施された、全国学力・学習調査であったが、国語・算数ともに全国平均・大阪市平均を下回った。国語科では、特に思考力・判断力・表現力などにあたる「読むこと」「書くこと」が大幅に低かった。算数では「数と計算」「図形」「データの活用」の領域で全国・大阪市の平均のおよそ半分程度とかなり低かった。コロナ禍という影響を考慮しても、前年度末から新年度にかけての学習習慣について、なかなか定着ができなかったことが数値としても浮き彫りになった。

令和 3 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査から

- ・令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、実施できず全国との比較はできていない。しかし校内での年度初め、年度末の結果比較から見ると、50m走、ソフトボール投げにおいて課題が見られる。昨年度重点的に取り組んだ 20m シャトルランテストにおいては、大幅に記録を伸ばすことができた。令和 3 年度のスポーツテストは、男子は立ち幅跳びが全国・大阪市平均を上回っていたが、他の種目は下回っていた。50m走・ソフトボール投げは特に低い数値となった。女子は、握力・上体起こし・50m走・ソフトボール投げで全国・大阪市平均を上回っていた。体力合計点は、男子が全国平均から 4 ポイント、大阪市平均から 2 ポイント下回った。女子は全国平均より 1 ポイント、大阪市平均より 3 ポイント上回った。コロナ禍での運動不足については、男子は若干あったように感じるが、女子は特に影響したとは考えられない。
- ・校内で実施した「生活振り返り週間」等の結果から見ると、高学年になっていくにつれて「早寝、早起き」についてできていない傾向が見られる。
- ・令和 3 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査のアンケートからは、「運動やスポーツをすることは好きですか」という質問には、男女ともに全国・大阪市平均と同じかそれ以上に肯定的回答が多い。ただし、学校外で体を動かす機会が男子の方が女子よりも少ない。

令和 3 年度大阪市小学校学力経年調査から

- ・3~6 年のすべての学年で昨年度と比較し（※3 年生は昨年度の 3 年生との比較）、4 教科の標準化得点が 3 年以外は下がっている。特に 6 年生は 5 ポイント下がっている。
- ・それぞれ平成 30 年度の標準化得点と比較すると、100 以上までは至らないがそれに近い数字に迫ってきていたが、令和 3 年度にまた少し差が出てしまっている。
- ・正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合も、平成 30 年度よりも、同じかやや減少傾向にあったが、令和 3 年度においては各学年やや増加傾向にある。
- ・3~6 年のすべての学年で、4 教科の正答率が市平均の 2 割以上上回る児童の割合は、上位層はやや減少、下位層は増加ぎみである。
- ・「読書は好きですか」という質問に対する肯定的な回答の割合は、低学年は 90% に近い割合で肯定的な回答が見られるが、高学年になると 80% に届かなくなり、全体としては 85% に至らない。図書室の利用については、多くみられるが「読書が好き」という回答には直結していない現状である。
- ・「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。」という質問に対しての肯定的回答は、3・4 年生は 80% が、5・

6年生は77%ほどが肯定的回答をしている。

- ・「学校のきまり・規則を守っていますか」という質問に対しての肯定的回答は、5年生が94%で最も高く、3・4年生が85%、6年生は74%であった。

学校の教育活動全体から

- ・国語を研究教科として、「書くこと」の力の向上に取り組んだ成果が見られる。相手意識や、目的を明確に提示したことで、意欲的に相手に合った手紙やパンフレットの作成に取り組むことができた。
- ・習熟度や少人数指導、矢田東漢字・計算検定の取組の効果が見られた。これまで継続して取り組んできた矢田東漢字・計算検定については、内容や評価について今後の取り組み方について教員間で話し合われた。今後は、子どもの実態に合わせて更により良いものに改善をしていくことを検討することにした。
- ・令和3年度は、児童のタブレットや一人一台パソコンの活用が盛んに取り組まれた。使用回数は確実に増えた。また、アンケートにおいても「タブレットやパソコンを使った授業は楽しいですか」という質問に対して肯定的回答は90%である。今後も継続して活用していくためにタブレットの活用方法について、全学年の取り組みを期待する。
- ・さまざまな読書活動推進を行ってきたことで、児童が本に触れる機会が増え読書環境は大幅によくなっている。しかし、読書意欲の向上にはまだまだ繋がっていない。児童の読書意欲の向上のための手立てを継続してさらに工夫・検討していく必要がある。
- ・英語については週2回のモジュールで、楽しく触れることができている。今後は英語を「好きに」「わかるように」なるために、指導者が研修などを通して、指導力の向上や工夫に取り組んでいく必要がある。
- ・この2年近くの新型コロナウイルス感染症の影響の中で、制限されていたが各学級で工夫してなわとび運動や、体育の時間にかけ足を行ったことで体力向上（維持）に繋がった。また、ソフトボール投げを重点的に取り組むことで、多くの児童は年度当初より記録が伸びた。しかし、年度末に伸びた記録も年度初めの全国平均に及ばない学年も見られた。これまでのコロナ禍のもとでの体育・運動への取組を工夫して、今後も指導者の指導力向上と体育の授業の充実を図って、児童の体力の維持、また向上を目指したい。
- ・児童のきまりに対する意識は高まってきているが、通学帽子の着用や持ち物、身だしなみ等の学校生活における基本的なことについては、課題が見られる児童も少なくない。児童のそれぞれの課題については、家庭的な背景も含め教員間でしっかりと共通理解を図って、継続した指導を教員全体で行っていく必要がある。
- ・「仲良く」「人の役に立つ」「あいさつ」の3つについてはどれも概ねできている。児童の良いところを認めつつ、伸ばしていくような声掛けや指導が必要である。
- ・朝食の喫食率は伸びているが、やはり遅刻が多い。特に寝るのが遅いので朝起きるのが遅くなるということが課題であり、今後も家庭と連携して指導していく必要がある。
- ・今年度は、感染症対策を十分にした上で、ゲストティーチャーを招いた出前授業や、体験活動を工夫して行うことができた。また、教職員の研修活動についても、同様にオンライン等を利用して行い、授業力の向上にさらに努める必要がある。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、90%以上にする。
- 毎年度末の校内調査において、不登校の児童の割合を、毎年、前年度より減少させる。
- 每年度末の校内調査において、前年度不登校の児童の改善の割合を、前年度より増加させる。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を令和3年度より15%増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査の平均正答率7割以下の児童をいずれの学年も令和3年度より10%減少させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の全国比を、同一母集団において比較し、いずれの学年も0.03ポイント向上させる。
- 令和7年度小学校学力経年調査・校内調査の「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を、35%以上にする。
- 令和7年度の児童アンケートや経年調査の「外国語（英語）は好きですか。」についての肯定的回答の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目において、最も肯定的に答える児童の割合を70%以上にする。
- 特に課題にあげるソフトボール投げを、令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、令和3年度より5ポイント増加させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末の校内調査の「日々の授業の中で学習端末を活用して学習している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を90%以上にする。
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を40%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標

- ① 令和4年度の小学校経年調査・校内調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- ② 令和4年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を、前年度より減少させる。
- ③ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校園の前年度

- ① 令和4年度の小学校経年調査・校内調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。
- ② 令和4年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を令和3年度より増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標

- ① 令和4年度小学校学力経年調査・校内調査の「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている」との項目について、最も肯定的に答える児童の割合を、5ポイント増加させる。
- ② 令和4年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の全国比を、同一母集団において比較し、いずれの学年も0.01ポイント向上させる。
- ③ 児童アンケートや経年調査の「外国語（英語）は好きですか。」についての肯定的回答の割合を83%以上にする。
- ④ 令和4年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」の項目において、最も肯定的に答える児童の割合を前年度の65%以上にする。

学校園の年度目標

- ① 令和4年度の小学校学力経年調査の平均正答率7割以下の児童を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3%減少させる。
- ② 特に課題にあげるソフトボール投げを、令和4年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、前年度より3ポイント増加させる。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標

- ① 令和4年度末の校内調査の「日々の授業の中で学習端末を活用して学習している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を前年度より増加させる。
- ② 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を35%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式 2)

大阪市立矢田東小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】	
全市共通目標 <ul style="list-style-type: none"> ① 令和4年度の小学校経年調査・校内調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。 ② 令和4年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を、前年度より減少させる。 ③ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 学校園の前年度 <ul style="list-style-type: none"> ① 令和4年度の小学校経年調査・校内調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。 ② 令和4年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を令和3年度より増加させる。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 全学級で、毎月末に、いじめの認知件数と解消した件数などをまとめ、校内で共通理解を図り、組織的な対応を行う。 指標 児童アンケートの「友だちのいやがること（いじめや仲間はずれ）をしないように気を付けて行動できていますか」についての肯定的回答の割合を90%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 児童朝会での講話や学級指導などを行い、学校安心ルールや、社会のルールを守ろうとする態度の育成を図る。 指標 児童アンケートや経年調査の「学校のきまりや学級の約束などを守っていますか。」の項目について、肯定的回答の割合を90%以上にする。	
取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 家庭との連携を密に行い、生活指導案件に対して早期解決を図る。 指標 児童アンケートにおいて「学校は楽しいですか」という項目に対して、肯定的に回答する児童を80%以上にする。	(1-1～4)

取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】

「特別の教科」道徳、道徳教育の充実を図り、自己肯定感・有用感を持てるようにする。

(2-1 道徳教育の推進)

指標

児童アンケートの「道徳で学んだことは役に立っていますか。」についての肯定的回答の割合を80%以上にする。

取組内容⑤【基本的な方向2 豊かな心の育成】

児童の実態に合った体験的な学習や、ゲストティーチャーによる授業を実施するなど、体験活動の充実を図る。

(2-2 キャリア教育の充実)

指標

児童アンケートや経年調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」についての肯定的回答の割合を95%以上にする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

改善点

(様式2)

大阪市立矢田東小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】	
<p>全市共通目標</p> <p>① 令和4年度小学校学力経年調査・校内調査の「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を、5ポイント増加させる。</p> <p>② 令和4年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の全国比を、同一母集団において比較し、いずれの学年も0.01ポイント向上させる。</p> <p>③ 児童アンケートや経年調査の「外国語（英語）は好きですか。」についての肯定的回答の割合を83%以上にする。</p> <p>④ 令和4年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目において、最も肯定的に答える児童の割合を前年度の65%以上にする。</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>① 令和4年度の小学校学力経年調査の平均正答率7割以下の児童を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3%減少させる。</p> <p>② 特に課題にあげるソフトボール投げを、令和4年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、前年度より3ポイント増加させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>基礎基本の定着を図り、個に応じた指導を進め主体的な学びを育む。</p> <p style="text-align: right;">(4-2「主体的・対話的で深い学び」の推進)</p> <p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における国語と算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の推進を行う。</p> <p style="text-align: right;">(4-2「主体的・対話的で深い学び」の推進)</p> <p>指標</p> <p>児童アンケートや経年調査において「学校の友達との話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。（友だちの意見を聞いて「わかった」「なるほど」「私とは違う考えだな」と思ったり、それを発表したりできていますか。）」についての肯定的回答の割合を80%以上にする。</p>	

<p>取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 毎学期末に「矢田東漢字・計算クライミング」の実施や学習教材データ配信の活用等を工夫して行い、児童の基礎学力の定着を図る。 (4-2「主体的・対話的で深い学び」の推進)</p>	
<p>指標 「矢田東漢字・計算クライミング」で全員が目標を達成するようにする。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 国語において、習熟度別少人数授業やT・T、単純分割や課題別分割なども組み合わせた個に応じた指導を行うなどして、児童の基礎学力の定着を図る。 (4-1 言語活動・理数教育の充実) (4-2「主体的・対話的で深い学び」の推進)</p>	
<p>指標 児童アンケートや経年調査の「国語の授業の内容はわかりますか。」についての肯定的回答の割合を85%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 算数において、習熟度別少人数授業やT・T、単純分割や課題別分割なども組み合わせた個に応じた指導を行うなどして、児童の基礎学力の定着を図る。 (4-1 言語活動・理数教育の充実) (4-2「主体的・対話的で深い学び」の推進)</p>	
<p>指標 児童アンケートや経年調査の「算数の授業の内容はわかりますか。」についての肯定的回答の割合を85%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑥【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 学年で年間を通じて週2回以上のモジュールや外国語、外国語活動の時間の取組を行い、英語教育の推進を図る。 (4-3 英語教育の強化)</p>	
<p>指標 児童アンケートや経年調査の「外国語（英語）は好きですか。」についての肯定的回答の割合を83%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑦【基本的な方向8 生涯学習の支援】 学級文庫の整備や、教職員が学校図書館補助員と連携した読書活動推進などを行い、児童の読書意欲の向上を図る。 (8-2「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づく取組)</p>	
<p>指標 児童アンケートや経年調査の「読書は好きですか。」についての肯定的回答の割合を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑧【基本的な方向5 健やかな体の育成】 年間を通じて様々な運動ができる場の設定を工夫したり、施設設備を有効に活用したりして、体力・運動能力の向上を図る。 (5-1 体力・運動能力向上のための取組の推進)</p>	

<p>指標 令和4年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目において、最も肯定的に答える児童の割合を前年度以上にする。</p>	
<p>取組内容⑨【基本的な方向5 健やかな体の育成】 全学年で毎学期に、2時間目の休み時間などを活用した業間体育を実施するなど、健康新活動の充実（体力づくり）を図る。</p>	
<p>(5-1 体力・運動能力向上のための取組の推進)</p>	
<p>指標</p>	
<p>1学期に全学年で行っているスポーツテストの結果を分析し、ソフトボール投げの測定を年間で複数回行い、年度末の記録を年度当初の全国平均より向上させる。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>改善点</p>	

(様式 2)

大阪市立矢田東小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標</p> <p>① 令和 4 年度末の校内調査の「日々の授業の中で学習端末を活用して学習している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を前年度より増加させる。</p> <p>② 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 を満たす教員の割合を 35% 以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向 6 教育 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <p>タブレットやノートパソコンや、ICT 機器を、使いやすい、効果的な活用を図り、毎日の授業改善を実践する。</p> <p>(6-1 ICT を活用した教育の推進)</p>	
<p>指標</p> <p>児童アンケートや経年調査の「タブレット端末を使った授業は楽しいですか。」についての肯定的回答の割合を 80 % 以上にする。</p>	
<p>取組内容② 【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>教育活動全体の検証・改善によって教育の質を向上させる。</p> <p>(7-1 働き方改革の推進)</p>	
<p>指標</p> <p>「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 を満たす教員の割合を 35 % 以上にする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
改善点